

第五回

津花之能

狂言

子盗人

山本東次郎

仕舞

八島

友枝昭世

能

隅田川

友枝真也

おはなし

梅内美華子



2020年7月19日(日) 午後2時開演／午後1時開場  
十四世喜多六平太記念能楽堂

東京都品川区上大崎4-6-9 電話 03-3491-8813

※ 病氣その他やむをえない事情で出演者が変更になることがあります。

**能 隅田川**

シテ 梅若丸の母 友枝 真也

ワキ 隅田川の護守 宝生 欣哉

ワキ連 旅商人 大日方 寛

後見 中村 邦生 佐々木 多門

地謡 大島 輝久 内田 成信 友枝 雄人 金子 敬一郎 長島 茂

大鼓 柿原 光博 小鼓 成田 達志

笛 一會 隆之

仕舞 八島 友枝 昭世

狂言 子盗人

シテ 盗人 山本 東次郎

フド 乳母 山本 凜太郎

フド 有徳人 山本 則重

おはなし 梅内 美華子

休憩二十分

終了予定 五時過頃



**友枝 真也**  
ともえ しんや

1969年東京生まれ。上智大学法学部法律学科卒業。故友枝喜久夫の孫。喜多流十五世宗家故喜多実入門、友枝昭世に師事。1972年仕舞「月宮殿」にて初舞台。1984年「経政」にて初シテ、2004年「狸々乱」、2008年「道成寺」、2011年「石橋(赤獅子)」を抜く。「洩花之能」主宰。2014年重要無形文化財総合指定。



**梅内 美華子**  
うめない みかこ

1970年青森県生まれ。歌人。馬場あき子に師事、歌誌「かりん」編集委員。同志社大学文学部卒業。1991年「横断歩道(ゼブラゾーン)」で角川短歌賞、2001年「若月祭(みかづきさい)」で現代短歌新人賞、2012年「エクウス」で芸術選奨文部科学大臣新人賞、葛原妙子賞。短歌研究賞。2016年青森県文化賞。現代歌人協会理事。歌集歌書に「真珠層」「現代歌枕 歌が生まれる場所」等。



**山本 東次郎**  
やまもと とうじろう

1937年東京生まれ。三世山本東次郎の長男。1961年に國學院大學日本文学科卒業。1942年に山本会「痿痺」のシテで初舞台。1952年「三番三」、1958年「釣狐」、1971年「花子」を抜く。1972年に「獅子舞」を復曲。四世山本東次郎を襲名。1992年芸術選奨文部大臣賞。1994年観世寿夫記念法政大学能楽賞。1998年に紫綬褒章。他受賞多数。2012年重要無形文化財各個認定(人間国宝)。日本芸術院会員。

**あらすじ**

**子盗人(こぬすびと)**

博打で負けて無一文になった男は困り果て、有徳人(裕福な人)の屋敷に忍び込みます。高価な茶道具に感心しているうち、赤ん坊が一人で寝かされているのに気づきました。見知らぬ男を見ても泣きもせず、愛らしい赤ん坊を思わず抱き上げ、あやしていると、乳母に見つかってしまいました。乳母の大声に有徳人も太刀を手に駆けつけます…。

**隅田川(すみだがわ)**

世阿弥の子、観世元雅の代表曲。都北白川に住む女が自分の子供が人商人にかどわかされて東国に連れて行かれたと知って後を追ひ、隅田川のほとりでその死を知るとい悲劇です。所謂狂女物として伊勢物語の東下りの段にある「我もまた いざ言問はん都鳥 我が思ふ人は ありやなしやと」という和歌をベースにストーリーは展開しますが、後半渡し舟に乗り込んでから我が子の死を知り、悲嘆にくれる母親の描写は非常にドラマティックです。動きの少ない曲ですが、シテとワキとの問答、シテの心情を描写する地謡の詞章は格調の高さと共に現代劇にも通じる演劇性と言えます。

**■予約開始**

**2020年4月20日(月)10:00am~**

**■チケットのご案内**

- S席 8000円
- A席 7000円
- B席 6000円
- 二階自由席 4000円

学生の方、中学生以下の方を御同伴の方には割引があります。お問い合わせください。

**友枝家公式サイト**

「友枝家の能」からもお申込み・お問合せいただけます。

<https://tomoeda-kai.com/>

※公演中止の場合を除き、ご購入後のチケットの払い戻し、変更、再発行はいたしません。

**■お申込み・お問合せ**

**TEL:03-3491-8813**

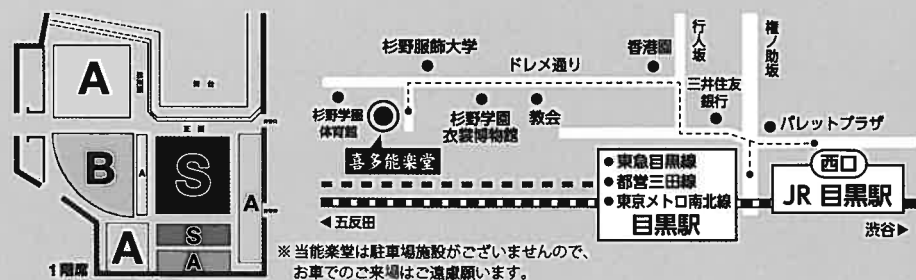
公益財団法人 十四世六平太記念財団

**十四世喜多六平太記念能楽堂**

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

**【交通案内】**

JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分



※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車での来場はご遠慮願います。